

葛飾区立双葉中学校のみなさん
「万引犯罪を無くすために」

【本日のテーマ】

1. 「万引をしない・させない・見逃さない」社会作りのために、あなたができること
2. 犯罪を作らない社会づくりの例 「寛政（かんせい）の改革に学ぶ」

【重要な文章】

万引とはお客のふりをして売場から商品をそっと盗むこと。それをする人です。万引は10年以下の懲役又は、50万円以下の罰金（ばっきん）となり、前科（ぜんか）がつきます。

仮に100円商品が万引されたとします。この損失を取り返すにはこの100円の商品を何個販売しなければ分かりますか？

寛政の改革を推進した老中（ろうじゅう）は松平定信（まつだいらさだのぶ）です。彼が老中になる前の話しです。陸奥（むつ）白河（しらかわ）＜福島県の南部＞の若き藩主（はんしゅ）になった松平定信が取り組む仕事は、天明（てんめい）の飢饉（ききん）で起こった食料難対策でした。松平定信は食料支援のほかに、領民（りょうみん）に赤子（あかご）養育費や子育て手当金を支給しました。

その後、江戸では火付盗賊改方（ひつけとうぞくあらためかた）の長官 長谷川平蔵（はせがわへいそう）が（にんそくよせば）創設を老中松平定信に提案した。人足寄場とは1790年に徳川幕府が江戸石川島に設置した軽犯罪人（けいはんざいにん）・犯罪を起こしそうな人の自立支援施設です。山本周五郎が書いた感動の名作“さぶ”の舞台はこの人足寄場です。

身のまわりの安全対策や災害対策にしても、惜しみない人々の努力と知恵をもとに築かれたものなのです。それは誰かが用意してくれるものではなく、我々ひとりひとりが考え、取り組んでいかなければいけない重要な仕事なのです。

このように、本来「人」は多くの人と対話し、助けあうことで生活が成り立ち、人の輪の中で幸せを感じます。そういう温かな心を持った人が正義の人になります。

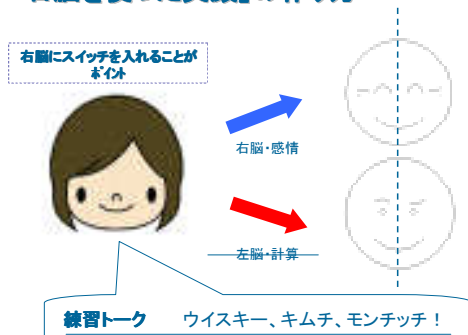
言葉には魂が宿ります。「いただきます」「ありがとう」「大丈夫ですか」「すみません」「お世話さまです」「ほっとけない」のような温かな言葉をつかっている人は罪を犯しません。その言葉があなたを幸多き人生に導いてくれるはずです。愛ある言葉は天をも動かします。

感謝の心に万引なし

【本気でやれば】

本気、本気でやればたいいのことはできる。本気、本気でやればなんでもおもしろい。本気、本気でやれば誰かが助けてくれる。人間をしあわせにするために、本気で働いている人は、本気で勉強している人は、皆しあわせで、皆えらい！

「右脳を使った笑顔」の作り方




挨拶ロールプレイング

挨拶＋アイコンタクト

『おはようございます』

(いい人ですね)

＜必要な時間は「0.5秒」＞



『私はあなたに気付いています』というサインを送ろう